

## 国際教育（2014年度入学者に適用）

経営学部では、経営についての研究・教育を中核としながら、国際社会で活躍できる人材を育成することを教育目標の一つに掲げています。外国語の学習はもちろん、異なる習慣や生活の仕方を学び、異文化を理解し、視野をひろげることが重要な課題です。そのような国際教育の一環として、本学部では短期及び中・長期の海外留学の機会を学生に提供しています。

### 【スタディー・アブロード・プログラム】

スタディー・アブロード・プログラム（SA）とは、約1ヶ月間、海外に滞在し、その地域の言語と文化をその地域にある現地の大学で学ぶプログラムです。2014年度のSAプログラムは9ヵ国（イギリス、カナダ、オーストラリア、アメリカ、スペイン、フランス、オーストリア、中国、韓国）で実施されます。

滞在中、主に午前中は言語の学習、午後はさまざまな活動を通して、現地の人々と交流し、さまざまな場所を訪れ、現地の社会や文化を学びます。

SAプログラムは、派遣/推薦語学研修等とは異なり、本学部のカリキュラムの一部として位置づけられています。SAプログラムに参加するためには、経営学部の「国際社会と異文化理解ショップ」内の科目を履修することが前提となっています。

なお、SAプログラムは時期によって実施地域が異なり、前学期（夏季休業中）はイギリス・カナダ・オーストラリア・スペイン・フランス・オーストリア・中国、後学期（春季休業中）はアメリカ・韓国です。

SAプログラムに参加するためには、SAプログラムに参加する学期以前に、希望する地域の言語(外国語科目)を、原則として4単位以上修得していなければなりません(注1参照)。また、1年次終了時に一定の単位数を修得しておかねばなりません。SAプログラムへの参加には費用がかかるため、1年次より履修計画を立てて準備する必要があります。

外国語科目の修得(履修)を前提として、次に、経営学部開講の以下の3科目を同じ学期に履修(登録)します。

「国際社会と異文化理解ショップ」内の

「国際コミュニケーション」(2単位) → 本学での学習

「スタディー・アブロード」(2単位) → 本学での学習

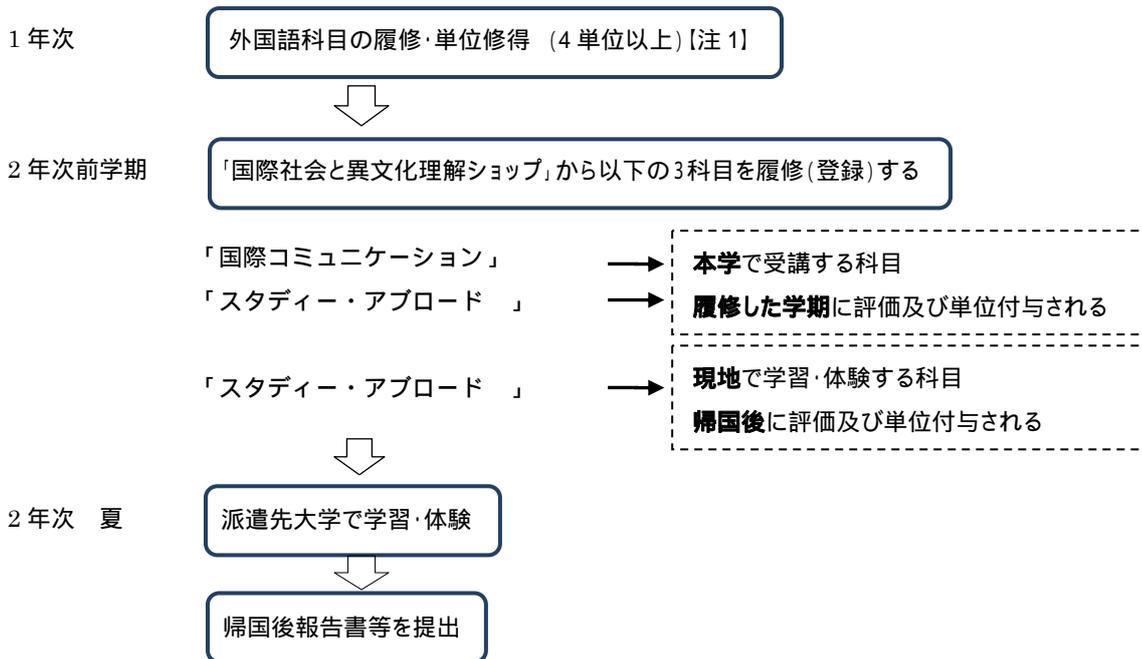
「スタディー・アブロード」(2単位) → 現地での学習

なお、SAプログラムにおいて学習した言語については、「外国語(SA)」(2単位)として単位認定されます(「外国語」の部分は実際に学んだ言語名称となる)。この「外国語(SA)」は経営学部専攻科目の選択外国語科目として単位認定され、卒業要件単位に含まれます。

履修と単位修得については、概略、以下のような流れになります。

<履修の流れ>

〔例〕 **前学期**の SA プログラムに参加する場合



< 修得可能な単位 > 各科目の授業内容については『シラバス』を参照すること

- ・「国際コミュニケーション」 (2 単位)
- ・「スタディー・アブロード」 (2 単位)
- ・「スタディー・アブロード」 (2 単位)
- ・「英語 (SA)」 (2 単位) (たとえば英語圏の場合)

注 1 : SA プログラム参加学期までに希望先言語の外国語科目 (4 単位以上) について単位を修得していない場合は平塚国際課に申し出ること。

注 2 : 前学期の SA プログラムに参加する場合には前学期開講科目の履修 (登録), 後学期に参加する場合には後学期開講科目の履修 (登録) が必要である。

注 3 : SA プログラムには 3 年次以降でも参加可能であるが, その前提となる単位修得・履修については上記注 1・注 2 と同様である。

注 4 : SA プログラムの詳細な内容や単位修得については, 本履修要覧の「履修要件」(p.46~47) と「語学研修及び留学について」(p.56~59), さらに経営学部「Global Consciousness」と「STUDY ABROAD 募集要項」(平塚国際課で配付)をあわせて参照すること。

【ビジネス・スタディー・アブロード・プログラム】

Business Study Abroad Programme (通称: ビーサップ/BSAP) は, 経済のグローバル化に対応し世界を舞台に活躍できる人材を育成すべく 2013 年に立ち上げられた, マレーシアの大学において 1 年間英語で経営学を学ぶプログラムです。派遣先大学での修得単位は本学の卒業要件単位に換算されるので, 通常 4 年間で卒業することが可能です。学生は神奈川大学に年間授業料を支払いますが, 留学先大学の授業料は神奈川大学が負担します。

マレーシアは, 世界経済の中心として注目を浴びる ASEAN 諸国の中でも, 特に政治・治安が安定した親日国家です。

日本とは対照的な多民族国家特有の人種，宗教，言語的多様性に富む社会に1年間身を置くことで，アジアの新興国のダイナミズムを肌で感じ，国際感覚を磨くことを目的としています。派遣期間中は大学の寮に住みますが，現地家庭におけるショートホームステイや現地での企業訪問等も経験可能です。

派遣のタイミングは，4月と10月ですが，派遣先との関係で派遣時期には多少のずれが生じることもあります。1年次生の場合は10月派遣のみですが，2年次生以上は，本人の単位修得状況と学修の関心に応じて，どちらの派遣時期を選んでも構いません。

TOEFL のスコア，学業成績，面接結果を総合評価することにより派遣学生を選考します。TOEFL (ITP) のスコアの最低基準は450点程度です。10月派遣の場合，480点を超えない場合には，その基準を満たすまで語学コースで学習することになります。